

化学と教育

第 61 卷 第 7 号 2013 年 目次

- ◆ 化学教育 徒然草
 将を射んと欲すれば先ず… 横井 邦彦…………… 325
- ◆ ヘッドライン：第 20 回化学教育フォーラム「国際バカロレアと理科教育」
 もう一つの大学入学制度 —国際的な大学入学資格制度— 松原 静郎…………… 328
 グローバル人材育成と国際バカロレアについて 永山 賀久…………… 330
 国際バカロレアと日本の学習指導要領のつながり ～MYP 実践から見てきたこと～
 鮫島 朋美…………… 334
 IB Chemistry: An Introduction Timothy Joseph O'Donnell…………… 338
 国際バカロレアを修了した学生の特徴—大学の「G30」英語による学部コースの実践から見た視点—
 山本ベバリーアン, 訳 石倉佑季子…………… 342
- ◆ レーダー
 水熱ホットプレス法による新規材料合成と環境浄化 山崎 友紀…………… 346
 フリーズドライで文化遺産を救え 米村 祥央…………… 348
- ◆ 実験の広場
 ビギナーのための実験マニュアル
 対流の実験 松岡 雅忠…………… 350
- 科学賞の受賞をたたえて
 駒場東邦中学・高等学校化学部 リーゼガング現象の探究
 人羅 智恵, 松岡 雅忠, 柳澤 秀樹…………… 352
- ◆ 講座：同位体の化学
 同位体で読み解く人類の進化と食生態 米田 穰…………… 354
 同位体生態学でみた縄文時代人と現代人 米田 穰…………… 358
- ◆ シリーズ：教科書から一歩進んだ身近な製品の化学—美しさを作り出す化学—
 夏の夜空に大輪の花を咲かせる花火の化学 伊東 一臣…………… 362

ヘッドライン企画趣旨

内閣府は2012年6月4日、グローバル人材育成推進会議のまとめを公表した。これによると「高校卒業時に国際バカロレア（IB）を取得可能な、またはそれに準じた教育を行う学校を5年以内に200校程度へ増加させる」こととしており、IB普及に本格的に取り組むことになった。今回の化学教育フォーラムでは、我が国におけるIB実施の現状と課題について考察した。文科省大臣官房国際課からはIBの考え方と我が国における今後の方向性について解説いただいた。さらに現在IB実施校である前期中等教育課程（MYP）認定校と、中等教育課程（DP）認定校から、それぞれの現状を紹介していただくとともに、大阪大学からはIB修了生受け入れの現状や今後の課題について報告していただいた。

◆ 論壇

キュリー夫人の幻の実験授業の推理Ⅱ（電池と燃焼） 吉祥 瑞枝	364
「昇華」の逆は「凝華」 細矢 治夫	366
高校化学における有機電子論 村田 滋	368
空気の分子量と気圧 木村 優	371

△ 日本化学会から

第66回定時社員総会開催報告	372
平成26年度～27年度 日本化学会会長候補者選出のための会員投票で榊原定征氏 内定	372

■ 行事一覧	373
--------	-----

次号予告 61巻 8号

ヘッドライン : 昆虫の卓越した能力を化学する

ヘッドライン コガネムシの不思議な体表を化学する	渡辺 順次
昆虫飛翔時の卓越した筋肉の動き	岩本 裕之
ミツバチが作るハチミツ	中村 純
ホタルの光を化学で作る	牧 昌次郎